

棚田の巨石群

森山神社をあがるとすぐに巨石群があります。これは、13世紀はじめ、屋久島に流れ着き、この浜からはじめて上陸して住み着いた平家落人が、吉田集落の山岳地帯で身を隠す際に目印にしていたと言われています。地元の住民はこの巨石を、長い時の流れにも負けないことからパワーの源として見ていますが、それだけでなく平和のシンボルとしても見えています。カリ長石の結晶がちりばめられたこの花崗岩には、水や風の侵食による割れ目が見られ、そこに溜まる水を利用して木や植物の芽生えが伸びていきます。こうした巨石は、まさに屋久島そのものの歴史を刻む生きた記録なのです。